

| | |
|----------|------------------|
| 取組項目 | 看板設置による啓発 |
| 組織名(市町名) | 逆面エコ・アグリノ里(宇都宮市) |

●構成員の中の老人クラブが中心となり、「野の花」や「キツネノカミソリ」の保護活動を積極的に進めている。

●看板を立てることにより今まで興味のなかった地域住民なども貴重な植物であることを知り、除草作業などにも参加するようになった。

●諸費用:日当・看板材料等 約15万



| | |
|----------|----------------|
| 取組項目 | 掲示板設置による活動報告 |
| 組織名(市町名) | いずみネットワーク(日光市) |

●当組織は、自治会及び自治会を網羅する各種団体が構成員となっており、農地・水向上活動への理解を深め、かつ、共同活動協力を呼びかけるために、活動行事や活動状況等を広報するための掲示板を設置した。(設置箇所は、地区内中央部にあるコミュニティーセンター前と、公民館前の2箇所。)

●今後、行事等を掲示板へ掲載し、共同活動協力の呼びかけとし、行事の掲載や活動報告を掲載し、ネットワーク事業の理解と共同活動協力を広めたい。

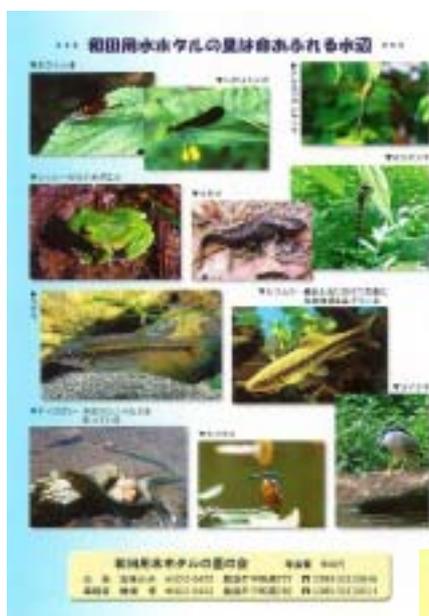
●また、植栽箇所等に看板を設置(8箇所)した。

費用:設置経費(材料含む)、約12万円



| | |
|----------|---------------|
| 取組項目 | ホタルの里だよりの発行 |
| 組織名(市町名) | 中粕尾水と緑の会(鹿沼市) |

- 水辺の生態系を保存し、多くの動植物の命あふれる環境を創造するため、5年前に「和田用水ホタルの里の会」を設立しさまざまな活動を行っている。
- 平成19年度から、より多くの人たちと連携を深めるため、「ホタルの里だより」を発行した。
- その結果、「中粕尾水と緑の会」「中粕尾子供会育成会」の協力を得て生き物調査を7月に実施することができた。水路、田んぼまわりには多くの生き物が生息していることを確認し、自然を守ることの大切さを感じることができた。
- 要費用:印刷経費、約5万円(400部作成)



| | |
|----------|-----------------|
| 取組項目 | 景観形成に向けた講演会の開催 |
| 組織名(市町名) | 上延生地域資源保全会(芳賀町) |

●当地域は、「曼珠沙華の里づくり」を掲げ、地域全体に曼珠沙華の赤い花を咲かせ、田舎の原風景の復活を目指しています。そこで、参加者の関心を高めるために、6月14日に大出英子先生においでいただき、講演会を開催しました。当日は、農地・水 対策に取り組んでいる他の大字の方も詰めかけ、約50名が熱心に耳を傾けていました。

●また、7月16日には、約70名の方が集まり、五行川沿いの水路法面に曼珠沙華の球根を約10,000株定植しました。

●次年度以降は、地域一帯に曼珠沙華の花が咲き誇るように、定植箇所を拡大していきたいと考えています。

●要費用
講演会 約5万円(講師謝金)
定植 約50万円(球根代、日当 等)



| | |
|----------|---------------|
| 取組項目 | 機関誌の定期的な作成・配布 |
| 組織名(市町名) | 柴地区環境保全会(下野市) |

●共同の取組や活動内容を構成員はもとより、広く近隣住民にも知ってもらうことを目的として、年4回機関誌を作成し配布した。

●毎回、工夫をこらした誌面づくりとなっており、構成員の意識が醸成され、地域のまとまりの強化に役立っている。また、今まで以上に活動の回数、質を高めるため、お助け隊(仮称)を募集するなど、今後の活動が期待される。

●要費用:日当、印刷経費など、約3万円



| | |
|----------|-----------------|
| 取組項目 | 機関誌の作成による情報共有 |
| 組織名(市町名) | 上延生地域資源保全会(芳賀町) |

●当地域は、「曼珠沙華の里づくり」を掲げ、地域全体に曼珠沙華の赤い花を咲かせ、田舎の原風景の復活を目指すとともに、地域みんなで集まる機会を増やすことで、楽しい地域にしていきたいと考えています。そこで、活動の案内や活動の成果を形にしてお知らせするために、年4回の機関誌を作成し、地域全戸に配布しました。

●自分たちの活動成果が形に残るため、やりがいが出ると好評でしたので、次年度以降も、継続し、より多くの参加者を募っていきたいと考えています。

●要費用:約2万円(印刷費)／1発行

サイクリングロード
集落内の畦道の草刈りに汗

クリーン
実行の日

9月23日
土曜日

曼珠沙華の里通信

秋に見事なサイクリングロードに
「曼珠沙華の里づくり」はじまる

曼珠沙華の里づくり10,000球を定額

ふるさとの川を知るう!!

ふるさとの川を知るう!!

生き高の悪化、綺麗しつつある生き高たち

ふるさとの川を知るう!!

生き高の悪化、綺麗しつつある生き高たち

| | |
|----------|---------------|
| 取組項目 | 看板・広報誌による情報発信 |
| 組織名(市町名) | 仲仕上みどりの里(栃木市) |

●地区内2箇所に共同活動を構成員はもとより、広く近隣住民にも知ってもらうことを目的として、活動区域のシンボリック存在である赤淵川を描いた看板を設置した。看板は地元役員が工夫を凝らして手づくりで作成し、地区内の主要道路沿いに設置されて構成員の意識高揚のために役立っている。

●共同の取組や活動内容を構成員はもとより、広く近隣住民にも知ってもらうことを目的として、年2回機関誌を作成し配布した。

●要費用: 物材費等、約8万円



仲仕上みどりの里だより 第2号 2008.3.15

春の桜、会員の皆様方におかれましては益々ご繁栄のこととお喜び申し上げます。昨年3月29日に当組織が設立されて以来、約1年が経過し、早くも新年度を迎える時期となりました。何かと不慣れなことも多い1年間ではございましたが、活動初年度にもかわらず、農家と非農家とが一体となって多くの有意義な共同活動を実施できたことは、まさに皆様方のご協力の賜物であると心より感謝申し上げます。

20年度以降につきましても、これまでの反省を踏まえながら、仲仕上の貴重な財産である赤淵川をはじめとする豊かな自然環境の保全・向上に一層の努力を蓄えていきたいと考えておりますので、引き続きご支援をいただきますようお願い申し上げます。

【今年度活動の軌跡】仲仕上みどりの里では今年度も、農村環境の保全・向上のため活動を行いました。

| | |
|----------|---------------|
| 取組項目 | PR看板の設置 |
| 組織名(市町名) | 柴地区環境保全会(下野市) |

●地区内に共同活動を構成員はもとより、広く近隣住民にも知ってもらうことを目的として、活動区域に各種写真を用いて、活動目的、内容をPRする看板を制作した。

●区域内の中心部であり、組織はもちろん、地域住民が集まるコミュニティセンターである友愛館及び哲学の道に3基の近くに設置されて構成員の意識高揚のために役立っている。地元でも一目で対策の内容がイメージできると好評を得ている。

●要費用: 物材費 約30万円



| | |
|----------|-----------------|
| 取組項目 | 機関誌の定期的な作成・配布 |
| 組織名(市町名) | 夢・はにしの里協議会(壬生町) |

●共同の取り組みや活動内容を構成員はもとより、広く近隣住民にも知ってもらうことを目的として、年4回機関誌を作成し配布した。

●毎回、工夫をこらした誌面づくりとなっており、構成員の意識が醸成され、地域のまとまりの強化に役立っている。また、活動への参加者が、当初見込んでいた人数を上回るなど良い結果が得られたので、次年度はもっと盛り上げていきたい。

●要費用: 日当、印刷経費など、約5万円



| | |
|----------|-------------------|
| 取組項目 | 機関誌の定期的な作成・配布 |
| 組織名(市町名) | 湧水の郷 塩田環境保全会(矢板市) |

●塩田ダムといくつも湧き出る湧水により、水源豊かな塩田地区は、「美しい湧水の郷」を合い言葉に活動に取り組んでいるが、まず地元の方々や参加者の関心を高めることが重要であるため、活動の取組みをPRする機関誌「湧水の郷」を年4回作成した。

●農地・水・環境保全向上対策の制度の紹介や組織の活動内容・活動予定を記載して、地区内各戸に配布した。

●その結果、参加者意識の向上や活動への参加者が徐々に増えてきており、次年度も活動を盛り上げるため、積極的にPRしていきたい。



| | |
|----------|------------------------------|
| 取組項目 | 地域住民等との交流活動・伝統的施設や農法の保全・実施 |
| 組織名(市町名) | 伏久地区農地・水・環境保全向上対策推進協議会(高根沢町) |

●「変える、孵る、帰る」～人が変わって、農地が替って、新しく生まれ変わる～をテーマに様々な活動を実施した。その中で、地域交流・異世代間交流を活性化させるため、今年で第3回目となる「巨大カボチャコンテスト」に合わせて、地域交流会を開催した。

●交流会当日の8月25日には、地域内外から約50名が集まり、宇都宮大学の佐々木准教授の指導で、地域で育てたアイの葉を使った伝統農法の「生葉染め」を子ども達が体験した。

●体験をした小学生は、「こんな色になると思わなかった。きれい」と声を上げて喜ぶ姿が見られ、アイを栽培した大人たちを含めて大変貴重な体験ができた地域交流であった。

●費用:生葉染代、交流会材料代、日当など、約8万円



| | |
|----------|-----------------|
| 取組項目 | ホームページによる情報発信 |
| 組織名(市町名) | 越堀自然を守る会(那須塩原市) |

●組織の活動を事務委託をしている「ゆめみらい」のホームページにて紹介。

●活動写真とコメントだけでなく、組織規約や活動計画、日報などの報告書類等も掲載されている。

●要費用:事務委託費として約20万円。



| | |
|----------|-------------------|
| 取組項目 | 看板設置やイベントにおけるPR活動 |
| 組織名(市町名) | 三区町環境保全隊(那須塩原市) |

●看板の設置により、一般の方へ組織の活動を周知し、農村環境向上の啓発を促す。

●多数の人が集まる祭り行事の際に、組織の活動を紹介するテントを設けて、集落内外の一般の方へ広報・啓発活動を実施した。

●集落内の非農業者への理解を深め協力を得るために、広報誌を作成し回覧した。



| | |
|----------|------------------|
| 取組項目 | 地域の環境向上計画の策定 |
| 組織名(市町名) | 藤田地域資源保全隊(那須烏山市) |

●藤田地区は、「環境重視」で、本対策に取り組んでいる。特に、半ば放置された2箇所のため池を再生させることを重点課題として掲げている。

●平成19年度に実験事業を取り組み、現地点検や、草刈を行う中で、ため池を公園として利用したいとの声が大きく、皆でため池における将来の夢とそれに向けた整備計画を策定した。

●初年度は、草刈・伐採・泥さらい等の基礎的な活動を行い、その後、歩道等や、花の植栽を進め、5年間かけて地域の憩いの場を創出する計画を立てている。



| | |
|----------|---------------------|
| 取組項目 | スタッフジャンパーによる共同意識の醸成 |
| 組織名(市町名) | 稲岡地区環境保全の会(足利市) |

●稲岡環境保全の会では、構成員の意識啓発のため「スタッフジャンパー」を作成し、各戸へ配布しました。

●同保全の会では、この鮮やかなスタッフジャンパーを着用し、草刈りの負担軽減を目的とした防草シートの設置やグランドカバープランツの植栽など様々な活動を実践、対外的にもPRしています。

●諸費用:スタッフジャンパー200着分、約30万円



| | |
|----------|---------------------|
| 取組項目 | 交流会や取組情報の発信 |
| 組織名(市町名) | 山越ふれあいの里づくり協議会(佐野市) |

●山越集落の上流に位置する農業用ため池周辺において、地域住民自らが行う直営施工という手法やグラウンドワーク活動で景観整備を行いました。整備された広場では、地域住民の交流を深めるための催しとして、毎年秋に「収穫祭」を開催しています。

●昨秋の「収穫祭」では、昨夏に実施された「田んぼまわりの生き物調査」の調査結果を写真パネル等によって紹介しました。調査に参加できなかった子供達も興味深そうに生き物の写真に見入っていて、次回は参加してくれそうでした。

●また山越集落の町会では機関誌「山越菊水だより」を定期的に作成・回覧しており、活動組織ではこの機関誌を利用し、実践活動の予定などをお知らせし、参加を募っています。



| | |
|----------|---------------|
| 取組項目 | 広報誌の定期的な作成・配布 |
| 組織名(市町名) | 姿川環境保全会(宇都宮市) |

●共同の取り組みや活動内容を構成員はもとより、広く近隣住民に知ってもらうことを目的に、年5回程度を目標に広報誌を作成配布した。(平成20年5月現在6号まで発行)

●内容は事業報告、事業予定、季節の話題等。なるべく写真を多くし、皆さんに見てもらえるように心がけている。少しずつではあるが、本対策の内容が理解され、地域のまとまり(郷土づくり)の強化に役立っている。

●要費用:約8千円(印刷費)/1発行



| | |
|----------|--------------------------|
| 取組項目 | 啓発・普及－啓発・広報活動／地域住民との交流活動 |
| 組織名(市町名) | 三区町環境保全隊(那須塩原市) |

活動実施日:平成20年1月～3月

活動内容:地域住民との意見交換とアンケートの実施

参加状況:8団体 112名／アンケート 約200名

費用:約6万 印刷経費、飲み物代、一部日当

美しい地域環境を後世へ【美味しい米づくりとキレイな里づくり】を目標に、19年度の反省も踏まえて「6つの課題」を設定し、2年目以降の「レベルアップ」と「体制整備構想の作成」に繋げることも含めて実施した。

実施に当たっては、理解を深めてもらうことと意見の出やすい状況をつくるため、19年度の活動状況等をパワーポイントで作成する等の工夫をした。

建設的な意見が多く出され、アンケートの結果と合わせ20年度の活動計画に反映することができた。

共同活動の実施に当たっても、できるだけ多くの人に参画してもらうため、一部の人に片寄ることなく公平に参加できるよう配慮している。

